## セキュリティが弱め？Linuxで最低限やっておきたい五つのこと

# Myラズベリー・パイ・サーバをインターネット攻撃から守るテクニック

片山 昌樹，田中 慎太郎

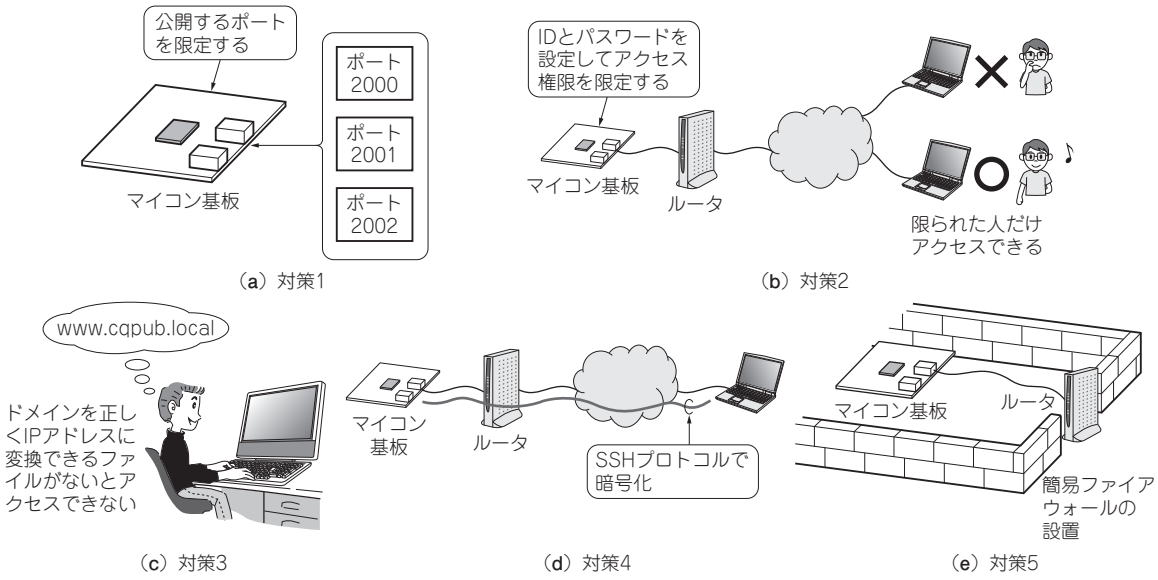


**図1　ラズベリー・パイをインターネット側の攻撃から守る五つの方法**

本誌8月号ではラズベリー・パイのようなLinuxボードを，外部から接続できる自宅サーバにする方法を紹介しました．本稿では，その自宅サーバを，悪意のある攻撃者から守る方法を紹介します．

<編集部>

ラズベリー・パイに搭載されているOSは一般的なLinuxのカスタマイズ版です．LinuxはWindowsと異なり，外部からの攻撃を非常に受けやすい構成です[注1]．

ラズベリー・パイに外部から侵入され，見られては困る情報を見られたり，外部攻撃への「踏み台」となったり，フィッシング詐欺サイトに利用されるなどのリスクが考えられます．

家庭内で利用しているだけならまだしも，インターネットを利用して外部に公開するのであれば，気をつけなければならないポイントがいくつかあります．今回は最低限，この対策だけは事前に行って欲しい…という項目を紹介します（**図1**）．

## 対策1…公開するポートを限定する

### ● Raspbianインストール直後はノーガードで開いているポートがある

ラズベリー・パイを安全にインターネットに公開するにはまず，公開するポートを限定します．通常，ラズベリー・パイにRaspbianをインストールした場合，**リスト1**のポートが開いています．

このうち111/tcpと36878/tcpは，サービスを適切に設定しなければ，外部から侵入されるリスクがあるため，インターネットに公開することはお勧めできません．111/tcpと36878/tcpを家庭内LANだけで使うのは全く問題ないのですが，これを外部に公開した途

注1：Raspbian（Debian Linux）は，ファイアウォールが，Windowsに比べて使い勝手があまり良くなかったり，設定が難しいなどの問題があります．これは「Windowsのエンドユーザは設定せずとも最初から守る」と「Linuxでサーバを建てるような人には細かく設定ができるファイアウォールを使ってもらう」という思想の違いによるものです．LinuxがWindowsに劣っているという訳ではありません．